

## 精神障害の疾患特性がある人でも継続学習できる、無料IT技能学習支援サイトの開発・運営(就労準備支援プログラム)

研究機関：神戸大学  
研究代表者：森本 かえで  
共同研究機関：なし



### 研究の背景

障害を持つ方がパソコンに対する学び方や操作方法がわからないという悩みや IT環境が不十分という事から学校や労働市場から取り残されているという切実な現状があります。

スマートフォンや携帯電話は我が国において十分に普及していますが、スマートフォンは使えても Word や Excel の操作は未熟であることが多く、操作を学びたいと考えても、教本や講座には自信の無さから取り組めなかったり、学び始めてもが続かなかったりすることがしばしばであります。

このような様々な理由から、障害を持つ方のデジタル・ディバイドの解消は進んでおらず、障害を持つ方のその希望に応じたICT支援は十分ではありません。

### 委託業務の結果、得られた研究成果の概要

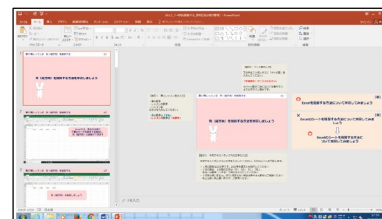
障害を持つ方がパソコンの学び方や操作方法がわからないという悩みやIT環境が不十分という事から、学校や労働市場から取り残されているという切実な現状があります。本研究では、研究代表者らが臨床で実施している就労支援において、精神や発達に障害を持つ方の疾患特性や障害特性に対応できる Word2010 e-ラーニングの学びのプロセスや学習履歴を取得し、さらに臨床試験とヒヤリングを実施しました。蓄積された学習データを利活用し、障害を持つ方が学びやすくアクセシビリティの高い Word2010 e-ラーニング基礎コース、Excel2016 e-ラーニング基礎コースを開発し全国へ公開しました。

いかなる人もITを使う機会や学びの環境とプロセスにおいて疑問の解消ができ、また、わかりやすく問題点の解決に導く手段があれば、そして正しいITの使い方や就労を目指すための情報を活用することができるようになれば、社会から取り残される事なく、再び、新たな一歩を踏み出すきっかけになると考えました。

本研究では精神や発達に障害を持つ方の就労支援の一環として、疾患特性に合わせ継続学習ができる無料IT技能学習支援サイト(Mental disorders E learning Support System = 以下 MELSS)の開発と運営を行いました。



マンガとキャラクターの活用



制作マニュアル

### 現状と今後の展開等

WordやExcelのマニュアル(e-ラーニングをpdf化したもの)を臨床現場で患者さんが使用しています。また、e-ラーニング作成の手法を使って、防災ハンドブック患者用を作成し、兵庫県内の各事業所や病院で使用しています。また、e-ラーニング作成手法から派生した防災ハンドブックを基にして、患者用防災ゲームの開発に取り組んでいます。

### 研究代表者

研究機関名	神戸大学 ※		
担当者	森本 かえで	所属・役職	大学院保健学研究科 研究員

【※： 関西医療大学併任】